

協働会議 委員の皆様のご意見から

「50年積み重ねてきた価値とこれから先に期待すること」

- ・「おもてなし」の気持ちをもって指導・総務チームの全職員が、チーム一丸となって利用者に接してくださっているし、50年経過しているとは思えないほど施設の維持管理がよくなされている。
- ・みんなが笑顔になるためにはどうしたらよいのか、そのために仕事の質を高めていこうとしているところは自分も大切であると考えているし、そこにとても共感している。
- ・大館唯一の県立の施設であり、この施設があつてよかったなと強く思っている。これからもこの施設を維持して頑張してほしい。
- ・様々なスポーツ少年団等の研修や活動の場としても活用されており、これからも可能な限りバックアップしていきたい。
- ・所長の経営理念にブレがなく、いかに子どもたちにこの自然体験を通して心を育むかというところを大事にされている。また、職員の方々が非常に心遣いをもってやっていることに感動しているし、この協働会議に参加すること自体いつも勉強になっている。
- ・子どもが輝く姿とそれを見て微笑む親の表情を見るだけでも自然の家の体験から得られる価値を感じて嬉しくなる。子どもの数が減っても、参加の多い少いだけでなく、この施設での体験の価値を大切にこれからも絶やさず多くの子どもたちの心を育んでほしい。

5月19日に新会長として長岐公二教育長と、校長会から渡辺俊春委員を新たに迎え、令和7年度の第1回大館少年自然の家協働会議を開催いたしました。この協働会議は平成30年に本所の持続的な運営を可能とするために設置された会議です。当日は各委員の皆様から今年度の経営方針等を承認していただきました。

や運営等に関して温かいご意見をいただきました。

現在本所では「みんなが“笑顔”幸せ(Well-being)”になるわんぱく大館」という2030ビジョンを策定しながら進めてきておりますが、今年度はその達成に向けて、「50年積み重ねてきた価値とこれから先に期待すること」をテーマとして協議をいたしました。委員の皆様からは左に示すとおり様々な視点から大変参考になるご意見をたくさんいただきましたことができました。これからも、貴重なご意見を取り入れながら運営して参りたいと思います。

大館少年自然の家
協働会議から

や運営等に関して温かいご意見をいただきました。
現在本所では「みんなが



十和田中の野外炊飯(カレー)



能代一中のシュウマイじゃんけん

団体の宿泊開始！

5月15日に能代市立能代第一中学校の2年生を迎え、今年度の団体の宿泊が始まりました。また5月21日には鹿角市立十和田中学校の1年生が訪れ、A・A・Pや野外炊飯などの活動に取り組みました。両校とも、みんなが協力しながら活動することができ、元気に盛り上げられるところが大変よかったです。体験を通して学んだことをこれからの学校生活に生かしてほしいです。

電話 0186-43-3174
FAX 0186-43-3175



- 発行責任者 -

所長 田村 新一

冒険の始まり！

アウトドアスクール1

今年度も年間4回セットで行うアウトドアスクールの冒険が始まりました。幼児(年長)から小学校3年生までの子どもたちを対象に5月から10月まで実施する主催事業で、今回は22名の申し込みがありました。

以前から継続して参加している子どもも多いのですが家族から離れ、学校も年齢も異なる仲間たちと一緒に集団活動を通して、様々な自然体験ができることが魅力だと思っています。

第1回目にあたる今回は5月24日に実施しました。

今回はいつも協力してくださる協働隊員の小笠原明美さん、小護潤さんに加え、秋田看護福祉大学の学生ボランティアとして大学の蓮さん、木村日彦さん、加藤優菜さん、長内詩音さんにもお手伝いしていただきました。開校式後は、やや緊張気味の子どもたちでしたが、交流ゲームが始まり次々とプログラムが進むにつれどんどん盛り上がっていききました。午前中最後のプログラムであるナンバウォークでは、みんなすっかり打ち解け、仲良く協力

県幼保推進課主催

新規採用者研修

5月20日、県幼保推進課主催の幼稚園・保育所・認定こども園等新規採用者研修が開催されました。

今回は12名の保育士、保育教諭の先生たちがこの研修会に参加してくださいました。午前のAAPは、落ち着いた雰囲気ですター！しましたが、アイスブレイキング等の様々なアクティビティを行うにつれて笑顔や歓声も広がり、非常に盛り上がりました。

午後からのジャイアントシソーとニトロクロッシング(川渡り)の2種類のエンレメントでは、アイデアを出し合い、息の合ったやり取りで次々とミッションをクリアする様子が見られました。新規採用者研修として出会った仲間と今回の体験で深めた絆を大切にしながら、これからも、仲間として互いに高め合ってほしいと思います。

5月の利用団体一覧

月日	利 用 団 体	利用者数	宿泊	備考
5/3	わんパーク大館まつり	91	主催事業	
5/9	下川沿保育所	24	日帰り	
5/9	十二所保育園	12	日帰り	
5/13	利用説明会 2	26	主催事業	
5/15	能代一中 2 年	41	1 泊	
5/20	幼保推進課新規採用者研修	17	日帰り	
5/21	十和田中 1 年	74	1 泊	
5/21	琴丘中	77	出前講座	
5/22	大館一中 2 年 職場体験	8	日帰り	
5/23	有浦小 4 年	73	出前講座	
5/23	北陽中 1 年	34	出前講座	
5/24	アウトドアスクール①	20	主催事業	
5/27	比内支援学校高 1 年	34	1 泊	
5/29	比内支援学校高 2 年	56	1 泊	
5/29	有浦小 クラブ	27	出前講座	
5/30	長木小 4 年	34	出前講座	
5/31	秋田看護福祉大 4 年	14	1 泊	

ご利用いただき、ありがとうございました。



ニトロクロッシングでミッション達成！



岩神貯水池周辺の散策でイエー！



うれしくて思わずハイタッチ！

しながら得点のポイントを
探すことができました。

午後は岩神貯水池周辺を
散策し駐車場までの帰り道
も、みんなとても元気に歩
くなど子どもたちのたくま
しさを感じました。

わんぱくの窓から

「おはようございます。
間もなくオカリナ音楽祭です
ね。頑張ってください」
「今日ね、久しぶりに天気
いいから早く来たよ(笑)」
▼自然の家の朝は、散歩や
ハイキングを楽しむ皆さん
との明るい挨拶で始まる。
▼当然か必然か、山を楽し
む皆さんは総じて元気で笑
顔がとてモ素敵である。心
の底から湧き上がる笑顔と
いうか、こちらも元気になる
笑顔である。▼健康であ
るから笑顔も明るいのか、
笑顔で明るく過ごしている
から健康であるのか。▼い
ずれ、山を訪れる皆さんに
はそれぞれ、山が好きだか
ら、健康のために、毎日の
日課だから、達成感を求め
て：などの理由があると思
うが、この日々の往来は
きっと何かしら「幸せ」に
つながっているような気が
がしてならない。そのよう
なことを考えていると、▼
『山のあなたの 空遠く
「幸」住むと 人のいふ』
カール・ブッセのあの一節
が頭にうかんでくるのであ
るが、きっと多く皆さんは
山を通して身近な生活の中
にそれぞれ小さな「幸い」
を見付けているのではない
かと感じている。【所長】